

新潟脳神経研究会特別例会の御案内

日 時：平成29年3月24日（金）17:30 ～ 18:30

場 所：脳研究所 1F 検討会室

脳の恒常性維持とその破綻： シナプスから神経疾患病態生理の 解明を試みる

二井 健介 先生

Department of Psychiatry
Brudnick Neuropsychiatric Res. Inst.
Univ. of Massachusetts Medical School
Worcester, MA 01605, USA
(新潟大学脳研究所共同研究拠点国際共同研究者)

シナプスは、神経伝達を目的に特化された神経細胞において最も重要な部位であり、その維持機構の異常が精神疾患・神経変性疾患の病態生理と考えられている。本演題では、疾患マウスモデルを用いシナプス維持に重要な役割を果たしている神経細胞内外のシグナルを紹介する。

なお、時間に余裕があれば、海外での科学者としてのキャリアパスについてお話しします。

どうぞ奮ってご参加ください。

(担当：細胞神経生物学分野)
新潟脳神経研究会幹事代表：那波宏之